



月刊アシスト

夏期講習を ふりかえって

節電の夏、勉強の夏が終わりました。皆さん、いかがが過ぎたですか。夏の間の学習状況、そしてその成果を真摯に受け止め、思うように行かなかった人は即改善、伸びた人はさらなる向上を目指し、秋の学習に取り組んでいることと思います。



～中3合宿成績優秀者～

早い学校は、中間テストも目前ですね。検定試験もあつという間に迫ってきます。



～中2合宿成績優秀者～

夏合宿校舎順位
1位 五香校
2位 常盤平校
3位 NT高花校

忙しくても自分で時間を見つけ、やるべきことをやりきる。夏の努力が本当の意味で生きるの、これからです。

七転び八起き 生徒作文より

誰もが一度は読んだことのある、鎌倉時代の代表的な随筆、兼好法師の『徒然草』。その多くの章段は、筆者の見聞(エピソード)と筆者の見聞から構成されています。夏休みの後半、まるで兼好法師のような作文を読みましたので、ご紹介します。



「七転び八起き」

六年 富田 小百合

初めて釣りをした時。一回目も釣れなくて、二回目も釣れなくて、三回目は、私のさおに魚がかかったのにお父さんが勝手に釣っちゃって、四回目は海にさおを落として、(後で落ちたさおを釣った)、五回目はみんな釣れてるのに一人だけ釣れなくて、六回目ですと釣れました。釣った量は私が一番多かったです。

この経験で、やっぱりねれば良いことが起きるんだなあと思いました。でも、初めのほうはけっこうがっかりしました。最初失敗したら、うまくいった時すごくうれしかったけど、逆に最初うまく行っているとき失敗したときけっこうがっかりすると思います。

だから、最初のほうに失敗していても、がんばって続けていけば、幸せはやってくるんだらうなあと思いました。

「二十一世紀に生きる君たちへ」

司馬 遼太郎

鎌倉時代の武士たちは「たのもしさ」ということをたいせつにしてきた。人間は、いつの時代でもたのもしい人格を持たねばならない。人間というものは、男女とも、たのもしくない人格にみりよくを感じないのである。

もう一度くり返そう。さきに私は自己を確立せよ、と言った。自分に厳しく、相手には優しく、とも言った。いたわりという言葉も使った。それらを訓練せよ、とも言った。それらを訓練することで、自己が確立されていくのである。そして『たのもしい君たち』になっていくのである。

以上のことは、いつの時代になっても人間が生きていくうえで欠かすことができない心がまえというものである。君たち。君たちは常に晴れあがった空のように、たかだかとした心を持たねばならない。同時に、ずっしりとたくましい足どりで、大地をふみしめつつ歩かねばならない。

私は、君たちの心の中の最も美しいものを見つづけながら、以上のことを書いた。書き終わって、君たちの未来が、真夏の太陽のようにかがやいているように感じた。(了)

相談コーナー

教室担当者にご相談しにくいことや、塾全体へのご意見、ご要望は本部へお電話下さい。なお、生徒さんの学習相談、欠席連絡、科目変更、各種費用等のお問い合わせは、お通いの教室にお願いします。新・個別指導アシスト 本部

047(346)2622
平日 午前十時～午後八時

9月の生徒目標
①計画を立て、学習時間を増やす。
②毎回の小テスト、宿題を確実に。
*自分に打ち克て！